

# 一般国道202号 唐津バイパスに係る新規事業採択時評価

- ・松浦川渡河断面で不足する交通容量を確保することで、ボトルネックが解消され、渋滞緩和により安全で円滑な移動を確保
- ・虹の松原線の通行規制時の代替路が確保され、信頼性の高い道路ネットワークが形成されることで、地域の安全・安心を確保

## 1. 事業概要

起終点: 佐賀県唐津市鏡  
～ 佐賀県唐津市和多田大土井

延長等: 1.3km  
(第4種1級、4車線、設計速度60km/h)

全体事業費: 約60億円

計画交通量: 約28,600～29,100台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約23,200 ～23,400台/日	約3,800 ～4,000台/日	約1,600 ～1,700台/日

## 2. 課題

### ① 渋滞ボトルネックのため周辺生活道路へ通過交通が流入し安全性が低下

- ・当該区間は前後4車線に挟まれた2車線の橋梁部で、交通量2.1万台/日が通行しており、近接している大土井交差点から唐津市街地に向かう右折車両の渋滞による直進阻害とボトルネックを起点とした渋滞が発生し、通勤や物流・救急搬送活動に支障。(図2、写1)
- ・当該区間の交通渋滞を避けるために周辺生活道路へ流入し、通勤・通学時の安全確保が課題。(図2、写2)

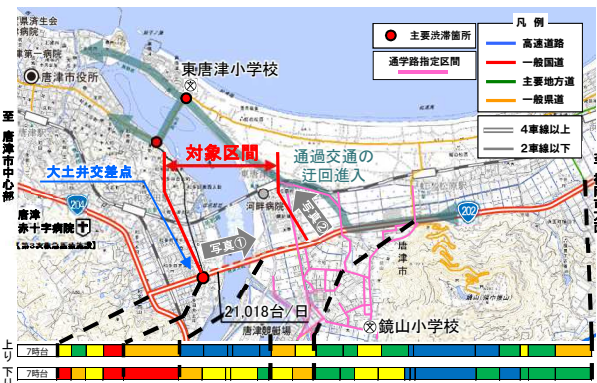


図2 対象区間の交通状況と周辺生活道路への迂回状況

### ② 速度低下による追突事故が発生

- ・唐津大橋区間の死傷事故率(91.2件/億台キロ)は佐賀県平均\*(72.9件/億台キロ)を上回っている。(図3)
- ・事故類型では、全てが追突事故であり、その要因となるボトルネック箇所での速度低下が発生するなど、安全性が課題。(図4)

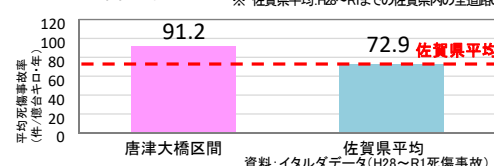


図3 唐津大橋区間の死傷事故率



図1 事業位置図



写1 渋滞のボトルネックとなる2車線橋梁部



写2 周辺生活道路に流入する通過交通

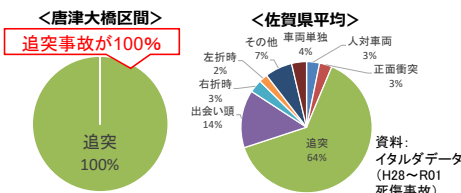


図4 唐津大橋区間の事故類型

### ③ 唐津市中心部への代替路の確保

- ・国の特別名勝に指定されている虹の松原を通過する(県道)虹の松原線において、令和元年の倒木による死亡事故を期に、強風時には通行規制を実施。(図5)
- ・(県道)虹の松原線の交通規制時には国道202号が迂回ルートとなるため、交通規制時における代替路の確保や交通負荷の軽減が課題。(図6)

	開始日時	解除日時	通行止時間	備考
R1	R1.8.5 17:30	R1.8.7 7:00	37.5 h	『強風注意報』発令
	R1.8.14 19:00	R1.8.16 7:00	36.0 h	台風10号による『強風注意報』発令
	R1.9.22 8:00	R1.9.23 14:00	30.0 h	台風17号による『強風注意報』発令
	R2.1.27 6:00	R2.1.28 16:30	34.5 h	『強風注意報』発令
	R2.2.17 20:00	R2.2.18 10:00	14.0 h	『大雪注意報、風雪注意報および暴風注意報』発令
計			回数5回	152.0 h
R2	R2.9.2 15:30	R2.9.3 18:00	26.5 h	台風9号による『暴風警報』発令
	R2.9.6 15:00	R2.9.8 12:00	45.0 h	台風10号による『暴風警報』発令
	R2.12.30 9:00	R2.12.31 8:00	23.0 h	『暴風警報』発令
	計			回数3回
R3	R3.8.16 19:00	R3.8.18 12:00	35.0 h	台風14号による『暴風警報』発令
計			回数1回	35.0 h

図5 (県道)虹の松原線 通行止め履歴

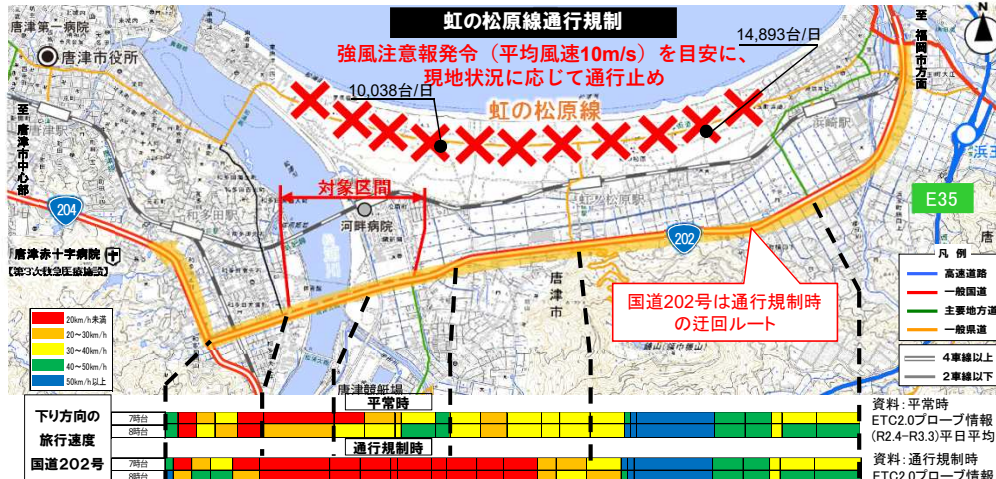


図6 虹の松原交通規制時の対象区間交通状況

## 3. 整備効果

### 効果1 幹線道路の速達性向上【◎】

- ・当該区間整備により、容量を確保し国道202号の速度向上。  
【ピーク時における対象区間の旅行速度】  
現況 20km/h → 整備後 54km/h (約34km/h向上)
- ・周辺生活道路への通過交通流入が抑制され、通学路指定区間の安全を確保。

### 効果2 幹線道路の安全性確保【◎】

- ・渋滞ボトルネックの解消により、速度低下に起因する交通事故の減少。  
【死傷事故率】  
現況 91件/億台キロ・年 → 整備後 71件/億台キロ・年(2割減少)

### 効果3 沿線地域の日常生活の支援【◎】

- ・幹線道路の容量拡大、速度向上を図り代替道路としての機能向上。

### ■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR※1	総費用: 億円※2	総便益: 億円※2
2.7	12%	47億円	129億円

※1: EIRR: 経済的内部収益率

※2: 基準年(R03年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)



# 一般国道202号 唐津バイパスに係る新規事業採択時評価

